

北のわらしべ

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)

連絡先：〒065-0043

札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35

TEL 011-776-7981 [法人本部]

《夏号》 令和 6 年 9 月 30 日発行

大滝わらしべ園の事業廃止・ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

理事長 川本 明良

障害者支援施設大滝わらしべ園は今年 5 月 10 日をもって事業を終了しました。先日、閉鎖した大滝わらしべ園を訪れました。かつて施設内で響いていた会話や泣き声、にぎやかな歌声もなく、楽しかったこれまでの様子を思い浮かべることもできません。誰もいなくなった建物は静まりかえり、低く重いコントラバスの音が流れているかのような印象を持ちました。その静かさがわたしの「寂しさ」を増幅させているようでした。施設で出会った利用者さんたちのお顔やお姿、すでに亡くなられた方々のことが目に浮かびます。静かな建物の中でひとり、施設の長い歴史を振り返りました。

大滝わらしべ園は法人創設者村井正直先生・陽子先生により、1987 年 6 月に現在の伊達市大滝区に重度身体障害者更生施設として設立されました。村井先生ご夫妻が更生施設として事業を開始したのはハンガリーから世界に広まった運動障がい者の支援法「コンダクティブ教育（略 CE）」を基本とした支援を日本で行うためでした。設立当時は入所施設でのリハビリが大きな役割を果たしていた時代です。緑豊かな山間の僻地で障がいのある人たちが CE の運動プログラムに取り組み、社会復帰を目指していました。起立動作、立位、歩行、座位の課題、、、など、利用者の皆さんは学習に励み、社会復帰を果たしました。

設立から 35 年以上の年を経る間、時代の流れや社会の変化、障がいを取り巻く環境や、ニーズは変化が著しく、入所施設の役割や機能を大きく変化させざる得なくなりました。わたしが 6 年間のブダペスト留学から帰国して、大滝わらしべ園に赴任したのは 1997 年夏です。苦勞しながら学んだ CE の実践に取り組むことを目標に、いわゆる機能訓練を中心とした活動に集中しました。しかし運動機能や能力に焦点をあてたアプローチや狭義の自立を目的とすることでは、社会復帰に向けた十分な役割を果たすことができないことを体験・理解するまで長い時間はかかりませんでした。

その後、大滝わらしべ園は更生訓練から生活支援へ、契約やサービスという時代の変化を受け入れ、広義の自立支援に取り組むことを目標と考えるようになりました。そのころ既に障がいのある方が入所施設を敬遠する傾向、都市部偏重で僻地を避ける状況が一般的になっていました。さらにわらしべ会には道内海沿いの浦河町に入所施設があり、法人内 2 つの僻地箱型入所施設を、今後どう運営するのか将来に向けて社会福祉法人の（大滝わらしべ園 全景）使命をどのように果たすのかが、大きな課題となっていました。わたしたちは考えた末に、わらしべ会北海道の事業イメージを転換させることとしました。大滝わらしべ園で培った機能を分散し「生活の場」としてのグループホーム、訓練や学習を含む諸々の活動を「活動の場」としての日中事業所で実施する計画をたてました。平成 17 年から 20 年ほどをかけて、徐々に札幌の拠点づくりに取り組みました。現在は日中事業所 3 拠点、グループホーム 4 棟を開設し、機能拡大に取り組んでいます。また、CE の活動は札幌の通所事業所で高次脳機能障がい利用者を対象とした活動として継続しています。

創設者が私に贈ってしてくれた 1 枚の書があります。「無一物無尽蔵」と書かれたこの書はわたしに、こだわりを無くせば、可能性は際限がなく広がることを教えてくれています。創設者が残してくれた大滝わらしべ園という施設は閉めることとなりましたが、その思想は「わらしべの文化」として、形を変えながら継続していきたいと考えています。大滝わらしべ園を利用いただいた利用者の皆さん、ご家族、役員、地域の皆さんや行政の担当者の皆さんなど思い返すと、本当に多くの方にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいになります。長期にわたるこれまでのご支援に感謝申し上げます。

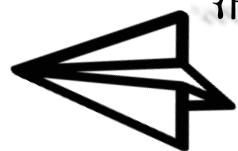
札幌わらしべ園グループホーム 1-4 ホームが完成しました。

本年度 4 月末、札幌わらしべ園 4 番目のグループホームが完成しました。RC 造 2 階建ての建物です。大滝わらしべ園からの利用者の受入れ先として設置しましたが、自然災害発生時の避難先、支援拠点としての機能も念頭に置いた立派な建物が完成しました。札幌のグループホームは総数 43 室となりました。



(本町 1-4 ホーム正面)

浦河だより



浦河わらしべ園

〒057-0171

浦河郡浦河町西舎 124-1

TEL 0146-28-1801

FAX 0146-28-1991

Mail urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp



中庭 BBQ

6 月に中庭 BBQ を行いました。メニューはジンギスカン、おにぎり、焼きそば。デザートには浦河産いちごを用意しました。利用者の皆さんは、お腹いっぱい食べて大満足といった様子でした。食後には職員によるモノマネ歌謡ショーを行いました。利用者のみなさんは「推しウチワ」をもって声援を送っていました。



(ジャンボリミッキー♪)

また、職員と利用者一緒に練習した「ジャンボリミッキー」を踊りました。「ジャンボリミッキー」は、5 月から 1 か月間毎週 2 回レクリエーションの時間にダンスの練習をしました。いつもは入所利用者のみで行っていましたが、通所利用者と合同で行うこともありました。練習した成果もあり、皆さんしっかりリズムにのって踊ることが出来ました。



(推しうちわ!)



(バーベキュー)

いちご狩り 初夏ドライブ



(いちご狩り)

6 月下旬から浦河町内ある福田農園でいちご狩りを行いました。いちご狩りではとっても甘く美味しいイチゴを自分の手で摘みました。自分で摘むのが楽しかったようで、少し摘みすぎてしまう方もいらっしゃいました。園へ帰ってきたときには「また来年も行きたいねえ」とお話しされていました。いちご狩りへ参加できない方は町内外へドライブに行きました。浦河ダムに行ったり展望台へ行ったりと、初夏の風景を楽しまれておりました。

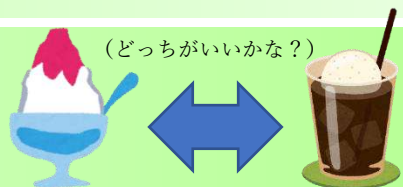


(絶景です☆ミ)

夏レクリエーション

8 月に夏レクリエーションを行いました。中庭でフロートとかき氷を提供しました。コーヒー味、ブルーハワイ味、いちご味、サイダー味の 4 種類の中から好きなメニューを 1 つ注文し、出来上がりを待っている間にスイカ割りを行いました。暑い日が続いてきたのでかき氷やフロートは大好評でした。4 種類の味のかき氷とフロートがあったため利用者の皆さんはどれにしようか悩まれておりました。強い日差しのためスイカ割りは食堂で行いました。皆さん力強く棒を振り下ろしていました。最後にはスイカが弾けるように割れて、お昼ごはんのデザートになりました。

夜は花火大会を予定していましたが、夕食後に手持ち花火をしている最中に突然豪雨になってしまったため、大急ぎで屋内へ避難し延期になりました。最後に記念の集合写真を撮りました。



(集合写真)

月ごとのレクリエーション



(散歩で馬と触れ合いました!)

6 月は散歩月間として、天気の良い日には園外へ出て自然と触れ合いました。陽ざしが少し強くなり「暑くなってきたねえ」と話しながら散歩をし、初夏の風を肌で感じていただきました。7 月は七夕かざりを作成しました。皆さんに短冊を書いてもらって笹に飾り、願いを託しました。「パンが食べたい」「お酒をたらふく飲みたい」「健康で過ごす」「またいちご狩りに行きたい」「世界平和!」などたくさんの願い事が集まりました。短冊のほかにも織姫と彦星も作りました。顔を自分で描いてもらい、オリジナリティあふれる作品がたくさんできました。

札幌わらしべ園

苗穂第一事業所

苗穂第一事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-37

Tel 011-792-6806

FAX 011-792-6807

Mailsawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

6 人の新しい仲間たち！

大滝わらしべ園の閉所に伴い、入所していた 6 名の皆様が 5 月 12 日に札幌わらしべ園苗穂第一事業所に移動となりました。

移動してすぐのころは、言葉少なになってしまう方、どことなく落ちつかない様子の方、怒りやすくなってしまう方など、皆さん少しばかり混乱している様子が見られました。

しかし、4 か月以上たった今はグループホームでの生活や通所事業所での活動、札幌の職員との関わりなどを通して今の環境に慣れてきたようで、大滝にいた頃と変わらず元気に落ち着いて過ごすことが出来ています。

苗穂第一事業所では塗り絵や折り紙などの創作活動を職員と一緒にしたり、みんなで音楽を聴いたり、楽器を鳴らす音楽の活動をしたりと、思い思いの活動に参加されています。又、事業所の周辺を散策することもあります。苗穂事業所の近くには函館本線や J R 北海道の車両基地があります。線路沿いの道を歩くと線路を走る列車を見ることが出来ます。車両基地の近くでは、点検をしている列車や作業の様子を歩道から遠目に見ることも出来ます。札幌は大滝と違い自然は少ないですが、大滝では見られなかった景色を見ることが出来るので、札幌での生活を楽しんで過ごすことが出来ているようです。



(列車が見えます🚆)



(お散歩！)

🌟 星に願いを 🌟

7 月は活動で七夕飾りを作成しました。先ず、利用者さんには画用紙にマジックで色を塗っていただき、その画用紙を使って笹を作りしました。次に、利用者さん全員短冊に願い事を書いていただきその笹に飾りました。「大きなテレビが欲しい」や「おいしいご飯をいっぱい食べたい」「ドライブ」などそれぞれの利用者さんらしい個性的な願い事が集まりました。

また、貝殻飾りやちょうちん飾りを利用者さんと一緒に折り紙で作成し、これらも飾り付けました。最後に、利用者さんに七夕の塗り絵に取り組んでもらい完成したものを事業所内に掲示しました。みんなの願い事が叶うといいですね！



🎪 夏祭りを行いました！ 🎪



(お菓子すくい)

8 月 19 日に夏祭りを行いました。事業所前の駐車場に出店を模した金魚すくいならぬ「お菓子すくい」と「射的」のブースを作り利用者さんに体験していただきました。駐車場ブースには隣の苗穂二事業所の利用者さんも参加していただきました。「お菓子すくい」は、たらいの中で水に浮かんでいるお菓子の中から、好きなお菓子を狙って穴あきお玉ですくい上げるゲームです。たらいの中に渦を作ってお菓子がぐるぐると回っているので、お菓子を狙うお玉もたらいの上でぐるぐると回ってしまい、皆さんすくうのに苦労されていました。「射的」ではおもちゃの銃を使ってペットボトルで作った的を倒しました。気分は射撃のオリンピック！パリオリンピックで話題になった「無課金おじさん」と同じくみんなラフなスタイルで的を狙いました。

駐車場ブースが終わると事業所の中に戻って夏祭りの続きを行いました。中では「かき氷」「わたあめ」「ポップコーン」のブースがあり、それぞれ利用者さんに提供しました。わたあめは巻き取るのが難しく、ふわふわの形には出来ませんでした。事業所中に甘い良いにおいが漂いました。ポップコーンは「ポンッポンッ」と小気味よい音を立てて香ばしい匂いと共にどんどん体積が増していきました。利用者の皆さんは出来上がるのが待ち遠しそうに、職員のわたあめ作りとポップコーン作りを見守っていました。待ちに待ったわたあめとポップコーンが提供されると、あっという間に皆さんのお腹の中に納まりました。



(名スナイパー現る!?)

札幌わらしべ園

苗穂第二・東区事業所

苗穂第二事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35

TEL 011-776-7981

FAX 011-776-7982

Mail naeojimu@hotmail.com

東区事業所

〒065-0042

札幌市東区本町 2 条 6 丁目 4-1

TEL 011-783-0606(1 階)

011-790-8130(2 階)

FAX 011-790-6572(共通)

Mail sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp(1 階)

Whshuuru01@yahoo.co.jp(2 階)

わらしべ農場

今年は大滝のご近所様よりミニトマトの苗をたくさん頂きました。大滝のかぼちゃ畑に負けないミニトマト畑をつくろう！と東区事業所の皆さんにも力を貸していただき、畑の土起こしや草むしり、苗植えも手分けして行いました。約 90 個のミニトマトの苗で畑一面いっぱいになりました！

「カラス対策はどうする？」「水はやった？」と畑の様子を見ては気になる様子で、他にもキュウリやナスも一緒に育てて、皆さんで夏野菜の収穫を楽しみにされていました。収穫時期になると「虫にやられたからダメかも…」と心配しつつも「もう食べられるかな？」と食べごろを相談しながら収穫し、昼食時に美味しく頂きました。♪ミニトマトは少々小ぶりではありましたが、たくさん採れたので、少しですが各グループホームやご自宅にも持ち帰っていただく事ができました。(^^)ミニトマトでは「アイコ」という品種のトマトが人気で、「甘くておいしいね！」と利用者さんからの声が聞かれました。活動では夏野菜の美味しい食べ方は？との質問に「サラダにして食べたい」「そのままかぶりつく！」「漬物が一番おいしいよ！」と楽しい話題の種にもなりましたよ☆



(畑作り)

(豊作♪)

🏆 パリオリンピック 🏆

苗穂第二事業所では 7 月 26 日～8 月 11 日に行われた、パリオリンピックの日本選手団にエールを送ろう！と応援旗の寄せ書きを作りました。(^^)「金メダル目指してがんばれ！」「槍投げがんばれ！」「メダル獲得がんばれ」とそれぞれの思いを応援メッセージとして書かれておりました。

東京オリンピックの時にも行った、「金メダルの獲得数予想」も皆さんで行い「60 個！」「10 個！」と予想する中で「20 個」と予想された方がぴったり賞！！予想が的中した方もびっくり！！嬉しそうなお様子でした。♪オリンピック開催期間は「スポーツ」「スポーツ選手」「オリンピック競技」「フランス」「パリ」などオリンピックに関連する話題で活動も盛り上がりしました。利用者の皆さんに人気があったのは「陸上」「柔道」「バレーボール」の 3 競技です。「昨日メダル獲ったね！」「昨日観た？」と朝の会もオリンピックの話題で楽しくお話しておりました。今回のオリンピックでは「あの競技面白いね！」と新しいスポーツや競技を知るきっかけにもなりました☆ 日本の皆さん感動をありがとう！



(がんばれ！ニッポン！)

🌸 丘珠空港緑地に飛行機を見に行きました！ 🌸

6 月 1 日に丘珠空港緑地までドライブに行きました。この公園は名前の通り、丘珠空港に面しており、飛び立つ飛行機を間近で望むことが出来る、飛行機好きにはたまらない公園です。1 時間もいれば 2、3 機は見られるのではないのでしょうか。この日はお散歩チームと遊具で遊ぶチームの 2 チームに分かれました。お散歩チームは



(青空の下で記念写真！)

沿道に咲く花や、飛行場に駐機する飛行機たちを眺めながら、ゆったりとした時間を過ごしました。遊具で遊ぶチームはブランコに乗りました。ここまで勢いよくブランコに乗る方々は早々見られないのではないのでしょうかというくらいブランコを自由自在に操り、空高くまで飛びそうな勢いで揺らしていました。

当初の目的である空を悠々と飛ぶ飛行機も見ることが出来、満足度の高い外出でした。



(ブランコ♪)

🌊 涼を求めて伏古公園に行きました 🌊

8 月 3 日の土曜営業日に事業所と同じ東区にある伏古公園に散策に行きました。この日は天候に恵まれ、絶好のお散歩日和でした。



(全員集合！)

伏古公園は、遊具あり、噴水あり、山あり、グラウンドありで、東区内で比較的大きめの公園となっており、休日となれば様々な年齢層の方で賑わいます。個人的なおすすめスポットは数年前にリニューアルされた噴水ゾーンで、近くに設置されているベンチから噴水を眺めていると、涼しさを感じることが出来ます。



(みんななかよし♪)

この日のルートは、遊具を横目に進み、両脇に木々がそびえる緑の木陰を抜け、噴水を眺めるコースです。時間の都合上遊具で遊ぶことはできませんでしたが、噴水をじっくりと見物していただくことが出来ました。夏休み真っ最中のため噴水で遊ぶお子さんたちを眺めながら、皆さん涼を感じリフレッシュされている様子でした。

クローズアップこの活動

通信

～オリンピックで一句！～

苗穂第二事業所のお決まりとなった俳句活動では「メダル」をテーマにして「人生の 勲章それが 金メダル」「パリ五輪 メダルをたくさん 持ち帰り」や、「フランス」をテーマにして「フランスパン 硬くてうまい 焼くもよし」「おフランス パリは首都だよ 華やかだ」「ファッションと 食の国だよ おフランス」とオリンピック関連のテーマでたくさんの俳句を詠んで下さりました。

今後とも利用者の皆さんと体調管理に気を付け健康第一で楽しく活動し過ごしていけたらと思います☆

～東区事業所、グループホームの周りを綺麗にしました。～

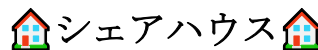
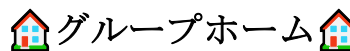
委託作業の合間を縫って東区事業所の職員と利用者のみなさんで、東区事業所、



(一面の緑が見違えるように！)

グループホームの草抜きを行いました。好天が続いたせいか、しぶとく雑草が生い茂りました。ただ、びっしりと生えとそれだけ抜いた箇所が一目瞭然になるので「綺麗になったよ！」と利用者さんの意欲に繋がっているようでした。手際よく次々と抜く方、几帳面に根本までしっかり抜く方、他の利用者さんに声を掛けながら士気を上げてくれる方など様々な個性を発揮し作業に取り組まれていました。作業の終わりにキンキンに冷えたお茶を一気に飲み干す姿は印象的でした。

グループホーム シェアハウス



この春に新しいホームを開設し、6名の新しい仲間を迎えました。新しい仲間が早く札幌になじめるように久しぶりのチャレンジ企画はグループ活動を行いました。調理実習、外出、女子会の3グループに分かれてそれぞれが楽しめそうな物を企画しました。

外出グループはカラオケに行きました。久しぶりのカラオケに少し緊張している様子でしたが、最後には大盛り上がりで大合唱しました。

調理実習グループはお好み焼きと焼きそばを作りました。「自分で作ったものは本当においしい」と沢山おかわりしている方もいました。

女子会グループは「おいしいデザートを食べたい！」との事でフルーツたっぷりパンケーキを作りました。普段見られない位の大きな笑顔が見られました。

調理実習グループの活動は「クローズアップこの活動」でも詳細を載せています！



～初開催 in 東区事業所～

7月にチャレンジ企画としていくつかのグループに分かれ、休日の余暇企画として皆さんに楽しんでいただきました。今回紹介するのは東区事業所に集まったグループです。こちらのグループでは、事業所に集まりお好み焼き&焼きそば作りを行いました。事前に何を食べたいか皆さんに聞くと、「お好み焼き」と「焼きそば」が圧倒的に多数で、粉物はやはり人気ですね。当日は食材を切る人、混ぜる人、焼く人それぞれ作業を分担して作りました。皆さんとても積極的に調理に参加されていました。コロナ期間中は調理実習を控えていたこともあり、皆さん久しぶりの調理に「大変だー」、「もっと混ぜたほうがいいんじゃない？」と楽しみながら調理されていました。作るのには時間がかかりますが、食べるのは一瞬。全員ペロリと召し上がっておられました。「おいしかったー」、「もっと食べたいね」と様々な感想が聞かれていました。

午後からはアニメ映画を鑑賞しました。モニターの前に集まり、真剣に映画を見る方、満腹でウトウトされている方等、のんびりと過ごされました。



～苗穂分屯地行事～



9月22日(日)にチャレンジ企画として札幌市東区にある陸上自衛隊 苗穂分屯地で「苗穂分屯地 創設72周年・北海道補給処苗穂支処 創立67周年記念行事」に利用者の方4名と職員で参加してきました。苗穂分屯地は苗穂事業所からすぐ近くのある場所がありますが、今回初めて訪れました。「こんな近くにあったんだね」と驚きつつ、楽しみにされていました。

イベントでは音楽隊による演奏や装備品の展示見学、装備品の1/2tトラック(73式小型トラック)試乗を楽しまれています。

またフリスビーやストラックアウトに挑戦できるブースがあり、分屯地職員の方の協力を得ながら挑戦しました。

ストラックアウトではなかなか的に当たらず「難しいなあー、もう一回頑張ってみる」と苦戦されていましたが、一生懸命挑戦しました。ようやく成功すると「当たったー！！できたよ！」と分屯地職員の方と一緒に喜びを分かち合いました。

コロナ禍の状況から少し落ち着き、地域の行事に少しずつ参加し始めています。

地域行事への参加は皆さん久しぶりでしたので、皆さんが楽しめる企画を今後も予定しています。

令和 5 年法人活動総括（まとめ）

① 法人運営関連

- ・評議員会で役員選任（6 月 24 日）されました。また、同日、理事長も選任されました。
- ・理事 6 名、監事 2 名、評議員 7 名（年度中 1 名永眠）による法人運営を継続しました。

② 法人内建設・増築（入札工事）・売却

- ・札幌わらしべ園東区事業所増築工事／競争入札工事／12 月 7 日引き渡し
- ・札幌わらしべ園 GH（本町 1－4 ホーム）／競争入札工事／3 月末 建築完了・4 月引渡
- ・（旧）札幌わらしべ園厚別事業所の土地および建物を売却しました。

③ 大阪法人との連携

- ・大滝わらしべ園事業継続のために大阪法人より職員派遣（応援勤務）支援を受けました。
- ・大阪法人の研修会に札幌職員参加し、事業見学をしました。
- ・大阪一北海道理事長会議により今後の両法人の活動について話し合いました。

④ 法人事務機能札幌集約化

- ・法人運営・会計経理・庶務の本部集中化を進め、事務の一括管理体制を継続しました。

⑤ 大滝わらしべ園の運営について

- ・男性利用者を中心に支援しました。事業継続の為札幌、浦河より職員応援を受けました。
- ・積立資産を取り崩し、運営資金としました。
- ・令和 6 年 5 月をもって事業移転・閉鎖の予定です。

⑥ 浦河わらしべ園の運営について

- ・重度障害利用者の安心な暮らしを支えることを目的に、安全な介護に努めました。
- ・利用者の高齢化による入院、他界など利用者の減少が著しい 1 年となりました。
- ・これまでのように大滝わらしべ園からの移動希望者が見込めない状況になりました。
- ・職場内の威圧的指導など、ハラスメント防止に向けた取り組みが課題となりました。

⑦ 札幌わらしべ園の運営について

- ・大滝わらしべ園からの移動利用者をグループホーム・生活介護事業所で支援しました。
- ・大滝からの移動利用者受け入れの為、新規 GH 建設・日中事業所増築しました。
- ・利用率が極端に低い日中事業所・グループホームの利用者確保が課題となりました。

⑧ コンダクティブ教育／ペトウ法

- ・札幌でコンダクティブ利理論を応用した「高次脳機能障害利用者」支援を継続しました。
- ・国際ペトウ協会との関係継続のため、協会委員を務める職員が Web 会議に参加しました。

⑨ 障害者虐待防止委員会の設置および、障害者虐待防止に向けた取り組み

- ・法人および施設に虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修を実施しました。

⑩ 農業活動の発展

- ・かぼちゃの栽培に取り組みましたが、大半を鹿に食べられ、収穫できませんでした。

⑪ 職員確保

- ・紹介業者のほか、リクルートキャリア、求人広告等を活用して、職員確保に努めました。
- ・インドネシアスタッフ 2 名を採用しました。

⑫ 職員処遇関連

- ・ベースアップ加算を財源として、職員に配分しました。
- ・処遇改善加算、特定処遇改善加算、福祉介護職員臨時特例交付金を職員に支給しました。

⑬ コロナ感染関連

- ・感染予防のための制限を部分的に解除しました。

⑭ 障害者雇用

- ・職業センターや就労移行事業所の支援を受け、障害者雇用に取り組みました。

⑮ 研修会・講演会

- ・「全国身体障害者福祉施設会議」を開催、法人と共催で研修・講演会を実施しました。

わらしべ会だより / 会計報告

法人單位資金收支計算書

社会福祉法人 わらしべ会

自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日

(單位: 科)

科目	勘定科目	予 算	決 算	差 異	備 考
事業収入等	介護保険事業収入	3,250,400	2,372,488	927,542	
	障害福祉サービス事業収入	554,190,600	555,802,795	-1,453,795	
	その他の事業収入	1,636,000	2,061,970	-425,970	
	慈善献金寄附金収入	360,000	750,000	-420,000	
	受取利息配当金収入		5,140	-5,140	
	その他の収入	4,120,600	3,917,513	221,488	
	事業活動収入計(1)	533,516,600	534,767,911	-1,257,911	
	人件費支出	223,700,000	232,923,490	1,086,502	
	事業費支出	94,945,000	90,067,224	4,857,776	
	事務費支出	72,900,000	68,765,331	4,134,669	
事業活動支出	事業活動支出計(2)	601,445,000	691,386,033	19,924,947	
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	22,066,600	43,381,878	-11,315,958	
経常収入等	国庫整備等補助金収入		4,873,940	-4,873,940	
	国庫貸付金収入	48,000,000	48,000,000		
	国庫整備等収入計(4)	48,000,000	52,873,940	-4,873,940	
	固定資産取得支出	257,093,000	257,090,280	82,720	
	ファイナンス・リース業務の増減支出	2,100,000	1,672,290	427,710	
経常活動支出	国庫整備等支出計(5)	259,793,000	259,256,480	536,520	
	国庫整備等収支差額(6)=(4)-(5)	-211,793,000	-206,382,540	-5,360,460	
固定資産	固定資産取得収入	9,500,000	11,603,810	-2,103,810	
	その他の活動収入計(7)	9,900,000	13,603,810	-3,703,810	
	固定資産支出	6,120,000	7,201,635	-1,071,635	
	その他の活動支出計(8)	6,120,000	7,201,635	-1,071,635	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	370,000	4,402,175	-4,032,175	
予備費支出(10)		45,745,000	33,999,000	19,846,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)+(10)		-190,200,000	-158,822,507	-31,577,493	

前期未支付资金利息(12)	199,300,609	593,505,822	-313,465,822	
当期未支付资金利息(11)+(12)		344,883,115	-344,883,115	

法人單位事業活動計算書

社会福祉法人 わらしべ会

自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日

(學堂：四)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減
主たる事業収益	介護保険事業収益	2,372,488	3,906,897	-932,119
	障害福祉サービス等事業収益	828,823,765	834,538,815	-8,984,029
	その他の事業収益	2,881,970	7,305,178	-5,303,288
	経費減価償却金収益	736,400	210,400	586,000
	その他の収益	13,130	235,318	-222,188
	サービス活動収益計(1)	228,981,443	545,831,510	-314,450,967
雑 入	人件費	333,301,521	228,591,241	6,720,680
	事業費	96,967,221	92,945,887	-2,276,463
	事業費	68,735,334	35,605,195	-8,867,984
	減価償却費	36,726,435	36,245,727	480,728
	サービス活動費用計(2)	535,400,533	547,372,652	-3,992,119
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-12,538,930	-2,541,142	-10,407,188
その他の収入	受取利息配当金収益	2,145	1,911	235
	その他のサービス活動外収益	3,904,562	2,381,123	672,182
	サービス活動外収益計(4)	3,906,568	3,333,144	573,367
	サービス活動外増減差額(5)=(4)-(3)	3,906,568	3,355,141	572,967
経常増減差額(7)=(3)+(5)		-8,632,422	1,291,399	-9,923,821
雑 当 入	施設整備等補助金収益	4,973,940	4,973,940	0
	固定資産売却益	9,935,292	9,935,292	0
	その他の雑利収益		113,125	-113,125
	特別収益計(8)	14,759,242	113,125	14,596,117
	固定資産売却費・処分損	-136,097	1	136,099
	国庫補助金等特別当引当金利息返額	-863,281	-7,872,369	6,430,085
雑 当 入	特別費用計(9)	-785,277	-7,872,368	6,907,091
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	15,474,519	7,485,493	7,989,025
当期経常増減差額(11)=(7)+(10)		6,942,097	8,776,892	-1,934,795
繰越増減差額	経費繰越増減差額(12)	616,213,161	501,438,460	12,774,692
	当期末繰越経常増減差額(13)=(11)+(12)	617,055,458	606,213,561	10,842,097
	その他の繰上金庫差額(14)	6,520,000	4,000,000	2,520,000
	次期繰越経常増減差額(15)=(13)+(14)-(13)-(16)	623,575,458	610,213,561	13,342,097

法人單位貸借對照表

社会福祉法人 わらしべ会

令和 6年 3月31日 現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
【流動資産】	516,142,492	339,649,251	176,493,241	【流動負債】	385,474,177	45,675,829	120,598,348
現金・預金	374,161,633	373,933,021	-228,112	事業用貸付金	168,575,162	45,742,451	122,832,711
事業用現金	128,760,414	112,766,236	25,994,179	その他の支払金	5,475,873	3,289,966	4,192,808
未収金	3,484,745	1,268,895	4,218,250	19年度以前年度留保増加分			
未収補助金				19年度以前年度よりリース借入金	1,672,296	1,672,296	
未収収益				未払費用			
貯 蔵 品				債 権 金			
仕 入 材				職員貸付金			
貯 金 金	20,499		20,499	収 入 金			
前払費用				賞与引当金	6,250,000	7,366,000	-1,116,000
戻 払 金				その他の流動負債			
その他の流動資産							
徴収不能引当金							
【固定資産】	1,227,664,696	1,964,901,871	162,700,825	【固定負債】	55,571,945	56,562,448	-990,499
（基本財産）	377,332,748	409,547,996	-32,215,248	政務官借入金			
土地	24,490,422	24,490,422		リース債務	498,206	2,121,448	-1,623,242
建 物	382,792,324	384,057,874	-31,265,250	退職給付引当金	122,745	54,414,048	-54,291,303
（その他の固定資産）	866,331,956	655,355,875	190,976,072	その他の固定負債			
土 地	206,246,243	218,475,213	-12,228,970	負債の部合計	238,045,122	112,438,299	125,606,823
建 物	388,445,337	348,488,497	41,956,840				
機 器 物	210,474	219,874	-9,400	【基本 金】	773,238,037	773,238,037	
機械及び装置	24,991,670	27,936,325	-2,944,255	【国庫補助金等特別積立金】	22,246,004	22,249,794	-363,790
車両運搬具	13,237,460	11,073,813	2,163,707	その他の積立金	70,921,451	86,421,451	-15,500,000
器具及び備品	6,820,585	7,709,142	-1,878,557	人件費積立金	41,000,000	47,500,000	-6,500,000
繰上償却資産	300,845,000		300,845,000	修繕積立金	31,921,451	31,921,451	
有形リース資産	1,932,000	3,602,000	-1,670,000	青森市国庫入庫立金	7,000,000	7,000,000	
ソフトウェア				国庫特別積立金			
繰上償却資産	55,122,745	54,441,949	680,795	その他の積立金			
人件費積立金	41,000,000	47,500,000	-6,500,000	【衣類被服給付金等特別積立金】	602,555,458	616,215,586	-13,660,128
修繕費積立金	21,921,451	31,921,451		（うち当期繰上償却資産前）	6,426,097	6,776,892	-1,350,795
国庫借入金入庫立金	7,000,000	7,000,000					
国庫特別特別積立金							
その他の繰上資産							
借入金保証金							
その他の固定資産							
【固定資産の部合計】	1,747,806,788	1,615,555,122	131,483,666	【固定負債の部合計】	1,688,993,466	1,583,114,853	105,878,613
【固定資産と負債の部合計】	1,747,806,788	1,615,555,122	131,483,666	【負債と純資産の部合計】	1,747,806,788	1,615,555,122	131,483,666

財產目錄

令和6年3月31日現在	
摘要	

類別	摘要
----	----

全 體

[illegible]

お 知 ら せ

❀ ありがとうございます ❀

順不同にてご紹介
ご寄贈・ご支援頂きました。

橋本 強志 様 女池 好子 様
平崎 京子 様 瀬川 時子 様
村井 榮 様



わ ら し べ



Facebook &
Instagram
始めました



Facebook Instagram
札幌わらしべ園の活動を紹介しています。
見て頂けると嬉しいです。（不定期更新）

事情により「北のわらしべ令和6年春号」を休ませていただきました。

社会福祉法人わらしべ会 理事・監事

役員（理事・監事）

評議員

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
理事長	川 本 明 良	平成12年 2月1日	評議員	加 藤 孝	平成29年 4月1日
理 事	猪 尾 紀 幸	平成29年 4月1日	評議員	谷 口 貢	平成29年 4月1日
理 事	平 岡 理 恵	平成24年 1月28日	評議員	高 岸 節 雄	平成29年 4月1日
理 事	藤 田 敦 士	令和2年 6月15日	評議員	山 本 一 哉	平成29年 4月1日
理 事	西 畠 利 彦	令和5年 6月24日	評議員	山 本 亮	平成29年 4月1日
理 事	柳 瀬 拓 生	令和6年 6月24日	評議員	辻 和 也	令和3年 6月16日
監 事	吉 川 滋 政	平成27年 7月11日	評議員	近 藤 尚 也	令和6年 6月24日
監 事	志 斉 哲 雄	平成15年 7月11日			

* 行事予定表 *

	浦 河		札 幌		法 人	
10 月	1 日	肺炎記念日	10 日	職員大阪法人研修	20 日	法人創設者村井正直先生ご命日
	下旬	ハロウィンレク	29 日	秋の演奏会		
	随時	特別外出	31 日	ハロウィンパーティー		
11 月	中旬	クリスマスツリー飾り付けレク	2 日	土曜営業日		
	随時	特別外出				

編集後記

連日テレビ観戦で熱狂したパリオリパラもあつという間に閉会式をむかえ、暑い暑いと言いつけた酷暑も終わりました。さて、本紙面を通じてお知らせしておりますように



入所施設大滝わらしべ園を閉鎖し、並行して札幌での新規事業開始に取り組んだことで、とても慌ただしい半年を過ごしました。今は秋の気配を感じるようになっていきます。少し落ち着いて、静かな秋を楽しみたいと期待しています。

編集職員一同